

新快速 関西の生活支え50年

特急並み時速130キロ 看板列車に成長



初代113系 新快速の初代車両113系 (京都鉄道博物館提供)



現在223系 高速運転が可能な223系 (JR西日本提供)



【新快速】の運行区間 (敦賀・福井・京都・大阪) ... 小田和人さん(60)は「以前は列車を遅らせたくない」と焦ることも多かったが、落ちて着いて運転できるように

「移動はいつも新快速。3系車両が京都(京都市)生活になくはならない存在です。通勤で神戸ー新大阪間を利用する神戸市兵庫区の会社員黒田益代さん(61)の乗車歴は姫路市に住んでいた学生時代から約30年。中央の通路を挟んで2人席が並ぶクロスシートも「個室感があつて書類の確認やメールチェックに集中できる」とお気に入りだ。新快速の誕生は旧国鉄時代の1970年10月。111

脱線事故機に過密ダイヤ改善

だが2005年の尼崎JR脱線事故で、安全を脅かす過密ダイヤは世間の厳しい批判を浴びた。JR西は翌年から新快速でも各駅間の所要時間を延ばした。当時、新快速の運転士だった

関西の通勤通学の足を支えてきたJR西日本の「新快速」が10月1日に誕生から50年を迎える。敦賀(福井県敦賀市)ー播州赤穂(赤穂市)の275・5キロに及ぶ長距離を特急並みの最高時速130キロで結ぶ看板列車に成長した一方、速さ重視の姿勢は尼崎脱線事故につながるとも生んだ。JR西はゆとりのあるダイヤに改正し「安全を第一に、これからも親しまれる存在でありたい」と意気込む。

新快速50年の経過

1970年10月1日	京都ー西明石間で運行開始
72年3月	急行用車両153系「ブルーライナー」導入
80年1月	117系「シティライナー」導入
86年11月	特急や貨物列車用の「外側線」利用開始。快速や各駅停車との接続が便利に
87年4月	国鉄民営化、JR西日本が発足
95年1月17日	阪神・淡路大震災。JR東海道線(神戸線)の一部が不通に
95年4月	神戸線が全線で復旧
99年5月	最高時速130km走行を開始
2005年4月	尼崎JR脱線事故が発生
06年3月	ダイヤ改正で、各停車駅間の所要時間を延ばす
19年3月	有料座席「Aシート」導入
20年10月	運行開始50年

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

- にしにほん しんかいそく むす
- ①JR西日本の新快速はどことどこを結んでいますか。 -
- れきし か こ
- ②新快速の歴史を書き込みましょう。
- たんじょう きゅうこくてつじだい
- ㊦新快速の誕生は旧国鉄時代の1970年10月。 系車両が京都ー西明石
- かん ぶん むす
- 間を 分で結んだ。
- ねん きゅうこうようしゃりょう けい どうにゅう
- ㊧72年に急行用車両の153系「 」を導入した。
- ねん はんしん あわじだいしんさい ふつきゅうご こうそくしゃりょう けい どうにゅう
- ㊨95年の阪神・淡路大震災の復旧後、高速車両の 系を導入した。
- さいこうじそく そうこう はじ
- ㊩99年には最高時速 キロ走行を始めた。
- でんげん つか ゆうりょうざせき どうにゅう
- ㊪19年3月には電源やWi-Fiが使える有料座席「 」を導入した。